

第5回 断層問題に関する理工学合同委員会・幹事会 議事録

日時：平成27年3月6日（金） 10:00～12:00

場所：JGS会館 3階 小会議室

出席：國生剛治，大塚康範，堀宗朗，末岡徹，谷和夫，藤井幸泰（欠席者：なし）

配布資料：

- 資料5-1：第4回幹事会（2014/12/8） 議事録（案）
- 資料5-2：書籍の企画案 Ver3（2015/1/23）
- 資料5-3：第2回下打合せ（2015/1/23） 議事メモ
- 資料5-4：書籍の企画案 Ver4（2015/1/30）
- 資料5-5：出版社とのメールのやり取りに関するメモ
- 資料5-6：第3回下打合せ（2015/2/25，中公新書） 議事メモ
- 資料5-7：書籍の企画案 Ver5（2015/3/6）
- 資料5-8：第50回地盤工学研究発表会でのディスカッションセッションの企画（案）
- 資料5-9：日本地震工学会への2014年度の活動報告，2015年度の活動計画案等
- 資料5-10：新刊『津波に負けない住まいとまちをつくろう！』の案内
- 資料5-11：新聞記事「直下型地震の死角」（日本経済新聞・社説，2015/1/27）

議事：

- 1．前回（第4回，2014/12/8）議事録の確認
資料5-1を承認した。
- 2．出版社との打合せ(2/25)までの経緯の報告
谷幹事長より，資料5-2～4に基づいて，検討の経緯が説明された。さらに，藤井幹事より，資料5-5,6に基づいて，出版社とのやり取りの経緯が説明された。
- 3．書籍の企画に関する検討
藤井幹事より，資料5-7に基づいて，企画案 Ver5 が説明された。中公新書（中央公論新社）を前提として，以下を審議した。
 - (1) 書名，趣旨，対象，全体像
 - ・ 原案を了承した。
 - (2) 編集方針
 - ・ 執筆者が決定した後に，要旨を提出してもらい，幹事団と意見交換することとした。
 - (3) 構成・目次・编者・執筆者
 - ・ 编者は，委員長+副委員長の3名とした。
 - ・ 各章の執筆者は，はじめに・國生委員長，1章・**氏，2章・**氏，3章・**氏，4章・**氏，5章・**氏，6章・**氏，7章・**氏，8章・谷幹事長，おわりに・大塚副委員長&堀副委員長とした。
 - ・ 各章の目次は平易な表現を検討することとした。例えば，1章・活断層と地震を知る，2章・断層が作る地形，3章・調査の方法，4章・ゆれとずれによる被害，5章・模型実験と数値解析，6章・ずれの予測，7章・断層のリスク，8章・ずれへの対応，インタビュー・原子力施設での対応，等が示された。
 - (4) インタビュー記事
 - ・ 谷幹事長がサイエンス・ライターの候補者（**氏）と3/13（金）に面会する。
 - ・ 分量は全体で30ページ程度とする。

- サイエンス・ライターが、面談調査（事前に質問・回答のやり取りを行う？）した内容を元に、専門家（4～8名？）の意見・見解の幅を整理して25ページ程度の取材報告を作成する。取材ルポではないので、サイエンス・ライターの個人的な見解は含めない（ただし、少なからず反映されることはやむを得ない）
- 取材報告を元に、幹事団で分析して5ページ程度の取りまとめを追加する。担当は堀副委員長とする。
- 面談調査の対象者は、**氏、**氏、**氏、堀宗朗氏、**氏を第1候補（印）とする。**氏、**氏、**氏、**氏、**氏、**氏、**氏、**氏を第2候補（印）とする。

(5) コラム

- テーマとして、「ずれたトンネル」と「断層の博物館」を第2候補（ ）とした。

4. (公社)地盤工学会の第50回地盤工学研究発表会のDSに関する検討

谷幹事長より、資料5-8に基づいて、(2015/9/1-3, 札幌市)のDS(ディスカッション・セッション)の企画案が説明された。

(1) テーマ

- 「活断層問題～地盤工学は何ができるのか～」とした。

(2) 内容と体制

- 形式について、市民向けのパネル・ディスカッションを確認した。
- 目的は、テーマへの関心の喚起と書籍刊行の案内とした。
- 座長は國生委員長、副座長は大塚副委員長を確認した。
- パネリストは東畑会長、**氏、**氏、サイエンス・ライター、谷幹事長とした。

(3) 参加者増のための広報・宣伝

- A4版のちらしを作成し、会場の受付で配布することとした。
- 3学会の会員メール、新聞社への情報発信を行うこととした。

5. その他

(1) (公社)日本地震工学会からの要請への対応

- 谷幹事長より、資料5-9に基づいて、2014年度の活動成果報告、2015年度の活動計画案、予算原案、アクションプランを1月に提出した旨の報告があった。

(2) 情報提供

末岡アドバイザーより、資料5-10,11に基づいて、以下の報告があった。

- 津波に関する図書について、目次の平易な表現を参考とすることとした。

谷幹事長より、以下の報告があった。

- (公社)土木学会主催の「断層変位評価に関するシンポジウム」(2015/7/3(金), 四谷)の論文募集が3/15に延期された旨の報告があった。

(3) 予算

- 2015年度の出資は、地盤工学会は26万円、日本地震工学会と日本応用地質学会は10万円を再確認した。

(4) 今後の予定

- 第6回の幹事会は、4月24日(金)10:00-12:00に、JGS会館の3階小会議室で開催する。
- 出版社の担当者とサイエンス・ライターにも参加を依頼する。

以上(文責:谷 和夫)